

2008年度 広島・島根交流神楽

月一の舞つきいちのまい

日本人の『心の歴史』が
石見神楽によって雄々しく
未来へ
受け継がれていきます。
三年目を迎える月一の舞いは、
広島・島根の神楽団の交流。
交流によって生まれる
お互いの連携と向上心を、
より強いものにしていくことをめざして
一つひとつにテーマを持ちました。
どうぞ お楽しみください。

◆ 平成20年 6月 1日(日) 協賛神楽公演

壬生の花田植えと無形文化財合同まつり

9:00開場 10:00開演 ※この大会は、開場・開演時間が異なります。

平氏追討		
羅生門	琴庄神楽団	広島県北広島町(豊平)
塵 倫	苅屋形神楽団	広島県北広島町(芸北)
大江 山	大塚神楽団	広島県北広島町(大朝)
天神 記	東山神楽団	広島県北広島町(千代田)

農村の郷土芸能は、季節の節目にの年中行事として生まれました。
壬生の花田植は、豊かな実りを願って神さまと一緒に稲の苗を植える春のお祭りです。
本地の花笠踊りは、育ちゆく苗につく害虫を払い落とし、川下へ流していく虫送りを芸能化したものとも言われます。

そして神楽は、収穫を終え、五穀豊穡を大自然の八百万の神々と先祖の魂に感謝する秋のお祭りです。

いずれも古代から続く農耕儀礼として受け継がれ、郷土を守る人々には心のやすらぎとなる大切な行事です。

今や全国的に有名な壬生の花田植。

この公開の日に、この地域に伝わる無形民俗文化財を合同まつりとしてご覧いただくものです。

6月の月一の舞いは、昨年 豊平・芸北・大朝・千代田の旧4町各単位で開催された競演大会で優勝された神楽団が出演します。

それぞれ 第32回 豊平神楽競演大会・第18回 芸北神楽競演大会
第44回 大朝神楽競演大会・第16回 神楽の里 千代田競演大会 です。

◆ 平成20年 7月27日(日)

石見神楽が語る「日本誕生」の物語

11:00開場 12:00開演

天の岩戸	都治神楽社中	島根県江津市
鹿 島	石見神代神楽上府社中	島根県浜田市
八 衢	石見神楽亀山社中	島根県浜田市
八岐大蛇	石見神代神楽上府社中	島根県浜田市

古事記や日本書紀に綴られた日本の神話は、わが国の気候風土を背景にして、古代人の長い歴史の中に築いた暮らしの知恵から生まれ、語り継がれたのではないのでしょうか。

この記紀の中にある米づくりの国・日本誕生の神話が2000年以上の時を越えて、石見神楽で再現されます。

天の岩戸は、天地(あめつち)・大自然の営みのはじまりが太陽の神・天照大神であると讃えられ、共に、神楽のはじまりを伝えます。

鹿島(かしま)は、国譲り(くにゆずり)とも言われ、出雲の国・大国主(おおくにぬし)命のところへ日本の国を天照大神の子孫に譲るよう、高天原から経津主(ふつぬし)神と武甕槌(たけみかづち)神が談判に来ました。

大国主の第二の御子・武御名方(たけみなかた)は、戦いを挑みますが敗れて承諾します。

これで天照大神の子孫に日本の国が譲られることとなります。

物語は八衢(やちまた)へと続きますが、これを天孫降臨(てんそんこうりん)とも言います。

天照大神の孫・瓊瓊杵尊(ににぎのみこと)が天鈿女命(あめのうずめのみこと)を先導に、高天原から今の宮崎県・高千穂の峰に天下(あまくだ)られたのです。

"天"照大神の"孫"が地上に降りられたことで、天孫降臨となります。

八衢は天空の中であって多くの道が交わっている所を言い、この地点で高千穂への道案内をするために猿田彦(さるたひこ)が待っていたという話です。

ただ、この瓊瓊杵尊という神の名は、稲穂が豊かににぎにぎしく実ることを願って付けられています。

尊は、天照大神から穀霊として五穀の種を授かり、三種の神器と共に降臨されたのです。

この天孫降臨によって、古代日本に米づくりが始まるのです。

神話は出雲に移り、八岐大蛇の物語を生みます。

高天原では荒ぶる神・須佐之男命は、出雲の国に天下り、八岐大蛇を退治して奇稲田姫を救います。奇稲田姫・奇(まれ)に美しく実った稲の田。

八岐大蛇は、中国山地から襲い来る大洪水だったのです。

命は、収穫間近の美田を大洪水から守り、出雲の国を安住の地としたことが語られます。

この四つの神話によって、天と地の理(ことわり)、米づくりのはじまり、自然の災いを超えて米づくりの国・日本の歴史が始まった事など、偉大な自然と知恵ある古代日本の先祖の織り上げた文化・神話が新しい時代への道標となって蘇ります。

◆ 平成20年 8月24日(日)

スーパー神楽 神々の詩 回想公演

11:00開場 12:00開演

滝夜叉姫	山王神楽団	広島県北広島町(千代田)
土蜘蛛	東山神楽団	広島県北広島町(千代田)
紅葉狩	中川戸神楽団	広島県北広島町(千代田)

三神楽団による合同演目

今から16年前、中川戸神楽団(現 北広島町)が憧れの芸石神楽競演大会に出場しました。そこで創作神楽「板蓋宮」を発表したのです。

舞い終わると、必死の練習のかいがあったと思う程、観衆から高い評価の拍手をいただきました。「やったー！」優勝、いや準優勝、最悪でも三位。と、審査結果を待ちましたが、とうとう「中川戸」の名前は出ませんでした。

一晚、団員それぞれ理由(わけ)の分からない無念の涙を流しました。この出来事こそ、スーパー神楽中川戸「神々の詩」のタイトルを掲げ、アステールプラザ大ホールでの公演への第一歩だったのです。

この地域で脈々と伝えられてきた神楽も、戦後 時代の変遷に伴い神楽を取り巻く環境も、めまぐるしく変わってきました。

こうした中、中川戸神楽団は、郷土芸能の神楽の世界では 歴史上はじめて自主公演という形で、世界のエンターテインメントの一流が登場する舞台へ挑戦したのです。

日本民俗の伝統芸能を次代へ届ける為には、「神楽を担う者が意識を保存的伝承から創造的伝承と変革し、舞台芸術に仕上げた広島市の新しい神楽ファンを開拓しよう」という願いをもって、前代未聞の計画は動いたのです。

その頃、旧山県郡・高田郡では、「神楽をやれば人が集まる」という状態でした。このような状況の中で広島市へ向かいました。

そのはじめ、前売券の販売のためデオデオ・そごう・アルパークなどのチケットサロンへ行ったときの事。

売店の担当者から「神楽？それなんですか」
「え、神楽観るのにお金があるんですか」
「神楽は田舎の人の娯楽でしょ」

今からは想像がつかない言葉が返ってきました。

それでもお願いして帰りましたが、あの人たちの言葉はこの新しい形の神楽をすすめる者にとって大変なショックでしたが、「だからしなければならぬ」と言う後押しにもなったのを思い出します。

それが、当時・広島市民の神楽に対する一般的な認識だったのです。

あれから15年、「スーパー神楽・神々の詩」も10回を重ねたところで神楽を県北から広島市へ広めた役割を果たし、新たにすすめられている「RCC早春神楽」によって全国へ広がっています。

◆ 平成20年 9月21日(日)

神楽衣装かぐら屋10周年記念公演

11:00開場 12:00開演

世鬼の舞	くむら神楽保存会	広島市安佐北区
十羅刹女	松原神楽社中	島根県浜田市三隅町
滝夜叉姫	琴庄神楽団	広島県北広島町(豊平)
大江山	宮乃木神楽団	広島市安佐北区

神楽面師・管沢良典さんが千代田(現 北広島町)に面工房を開いて20年。

昨年、これを記念して、個展と月一の舞いで「協賛神楽公演」を開きました。

今年、管沢さんの弟・秀巳さんが「神楽衣装かぐら屋」を設立して10年になります。

9月20日(土)～28日(日)まで北広島町のショッピングセンターサンクス2階ギャラリー森で記念の展示会を開き、この記念公演を併せて行います。

この兄弟の所属する宮乃木神楽団も、今年3月に結成10周年記念公演を成功の内に終えました。

それぞれ神楽人として広島県・島根県の県境を越え、神楽全般の指導者として活躍されています。

管沢秀巳さんは、こどもの頃から神楽に憧れ、若い頃から兄・良典さんの神楽面づくりの後姿を追いつけ、夢に見た神楽衣装の製作者となられました。

神楽の舞い手の立場に立った衣装作りを心がけ、仕上がった作品が舞台を彩ります。

◆ 平成20年 12月14日(日)
神楽未来へ 若き三人の挑戦者たち
11:00開場 12:00開演

大江山	中川戸神楽団	広島県北広島町(千代田)
戻り橋	大塚神楽団	広島県北広島町(大朝)
塵倫	筏津神楽団	広島県北広島町(大朝)
道成寺	大塚神楽団	広島県北広島町(大朝)

三人の若者が神楽談義をはじめると明日の朝になってしまう、中学校・高校と一緒に同級生。今、それぞれ歴史も環境も違う神楽に所属しながら、それぞれ違う神楽哲学を披歴し、お互いの「芸」の向上を図っていることがわかります。

中川戸神楽団 松田 大地

大塚神楽団 竹田 淳一

筏津神楽団 前河 伸弥

最愛の友は、最強のライバル。

三者三様、独特の持ち味が舞台上で表現され、観客を感動の渦に巻き込んでいきます。

何が違うかは観てのお楽しみ。

神楽を自己表現の舞台として決め、3人の相互啓発が新たな情熱を生み、そして酔いしれて改めて挑戦していく姿は、郷土の誇りとなって華開いていきます。

いつも、若い挑戦者たちから未来が開かれるのです。

今、また彼らに連なるライバルたちが生まれているに違いありません。

◆ 平成21年 1月18日(日)
神楽の伝統を守る 山県舞い
11:00開場 12:00開演

鍾 馗	三谷神楽団	広島県安芸太田町(筒賀)
八岐大蛇	有田神楽団	広島県北広島町(千代田)
神 武	砂庭神楽団	広島県北広島町(千代田)
大江山	三谷神楽団	広島県安芸太田町(筒賀)

島根県石見地方で生まれ育てられた石見神楽は、江戸時代の終わりから明治の初めにかけて、広島県の北へ伝わってきました。

江の川流域を上り、伝わったものを阿須那系石見神楽と言い、中国山地を越えてきたものを、矢上系石見神楽と言われています。

この頃に伝えられた演目は、戦後大きく変わり、新舞と旧舞という区分もされて来ました。

その中で、いわゆる山県舞いと言われ、戦前の神楽がそのまま残されて来たと言われる伝統のものにスポットを当てます。

◆ 平成21年 2月 8日(日)
神楽の伝統を守る 高田舞い
11:00開場 12:00開演

天の岩戸	原田神楽団	広島県安芸高田市高宮町
塵倫	梶矢神楽団	広島県安芸高田市高宮町
滝夜叉姫	原田神楽団	広島県安芸高田市高宮町
紅葉狩	上河内神楽団	広島県安芸高田市美土里町

第二次大戦の敗戦により、占領軍は皇国史観や国家神道を讃える神楽を禁止しました。

また一方で、県北地方にやくざ風の芝居が入り、田舎の青年もこれに興味を持ち始める状態だったと言います。

そこで、故 佐々木順三氏(安芸高田市美土里町)は、儀式舞を神職が舞い、余興性に乏しい素朴な戦前の舞いを変え、謡曲や歌舞伎などを写した演劇性の高い神楽の演目を作られたのです。

葛城山(土蜘蛛)・紅葉狩・戻り橋・悪狐伝・鈴鹿山・山姥・伊吹山・壇の浦・滝夜叉姫などの演目と、中には旧来の演目の内容(神徳を高揚する部分を除いて)より娯楽性の高いものに仕上げられたものがあります。

そして、戦後数年間は神楽団の名を農村の舞楽団という組織にして舞われていたようです。

これらが数年後、各地の競演大会で新舞の部として区分されるようになります。

◆ 平成21年3月15日(日)
県境を越えて 亀山社中10年の歩み
11:00開場 12:00開演

鏡 山	後野神楽社中	島根県浜田市
岩見重太郎	宮乃木神楽団	広島市安佐北区
貴 船	石見神楽亀山社中	島根県浜田市
滝夜叉姫	琴庄神楽団	広島県北広島町(豊平)

『観客は、息をひそめる、舞い手の一挙手一投足を射るように追い続ける。

そして、舞いが終わると感動の拍手が場内に轟き渡る』

今から15年前、たった一人、小川徹さん(石見神楽亀山社中)が浜田市から車を走らせ、広島市のアステールプラザの中川戸神楽団の「板蓋宮」を観た時のことでした。

石見神楽の源流の地で、また神楽の元祖として神楽魂と芸や技を磨いて来たものの、何か物足りなさを感じていたものの、その何かがこの舞台にあったようです。

「農耕儀礼から出発した伝統の神楽を守りながらも神楽を舞台芸術へ発展させ、浜田の地から改めて自分たちらしい神楽を発信したい」

そして、「神楽バカ」の心・情熱・闘志に火が付き、この指とまれと団員を集め、無我夢中の内に歳月は過ぎたのです。

来年10周年を迎え、来年の4月19日(日)には浜田市石央ホールで亀山社中10周年の公演を予定されています。

広島神楽へ、石見の地から古来の演目と重厚で独特の神楽を持って挑み、お互いの連携と向上を図りながらより広いファンを作ろうとするものです。

広島・島根交流神楽「月一の舞い」の真価が問われることとなります。

会場 **千代田開発センター**

北広島町有田1234-1 Tel.0826-72-5277

中国自動車道「千代田インター」から車で1分

駐車場 ショッピングセンターサンクス・北広島町役場駐車場

料金 共通前売券 **1,200円** 当日券 **1,500円**

小・中学生は 500円(当日券のみ) 小学生未満は無料

全席自由席 (一部 神楽ツアー用ブロック席)

チケット販売所

広島県/ひろしま夢ぷらざ Tel.082-544-1122

北広島町 サンクスインフォメーション Tel.0826-72-3939

北広島町 道の駅 舞ロードIC千代田 Tel.0826-72-6908

主催 広島・島根交流神楽実行委員会
(出演神楽団・北広島町神楽を活かした町づくり研究会・千代田観光協会・NPO広島神楽芸術研究所)
文化振興助成事業(株式会社 コムズ 千代田ショッピングセンターサンクス)

お問い合わせ 千代田観光協会 Tel.0826-72-6908 Fax.0826-72-6905

(NPO広島神楽芸術研究所 Tel.0826-72-5307)

神楽情報サイト 「神楽の杜」 インターネットでもチケット予約ができます>>>

<http://www.npo-kagura.jp/>

これまでにご協力いただいた神楽団

●子ども神楽団

- ・山王子ども神楽クラブ 北広島町(旧:千代田町)
- ・新庄保育所神楽団 北広島町(旧:大朝町)
- ・大森子供神楽団 広島市佐伯区(旧:湯来町)
- ・東山子ども神楽団 北広島町(旧:千代田町)
- ・八重西子供神楽団 北広島町(旧:千代田町)
- ・大塚子供神楽同好会 北広島町(旧:大朝町)
- ・上府子ども神楽団 島根県浜田市
- ・八千代子ども神楽団 安芸高田市(旧:八千代町)
- ・有田子ども神楽団 北広島町(旧:千代田町)
- ・新庄高校郷土芸能同好会 北広島町(旧:大朝町)

●広島県内

- ・三谷神楽団 安芸太田町(旧:筒賀村)
- ・吉田神楽団 安芸高田市(旧:吉田町)
- ・宮乃木神楽団 広島市安佐北区
- ・大森神楽団 広島市佐伯区(旧:湯来町)
- ・あさひが丘神楽団 広島市安佐北区
- ・堀神楽団 安芸太田町(旧:加計町)
- ・津浪神楽団 安芸太田町(旧:加計町)
- ・川北神楽団 安芸太田町(旧:加計町)
- ・八千代神楽団 安芸高田市(旧:八千代町)
- ・原田神楽団 安芸高田市(旧:高宮町)
- ・くむら神楽保存会 広島市安佐北区
- ・梶矢神楽団 安芸高田市(旧:高宮町)
- ・上河内神楽団 安芸高田市(旧:美土里町)

●北広島町内

- ・山王神楽団(旧:千代田町)
- ・本地中組神楽団(旧:千代田町)
- ・中川戸神楽団(旧:千代田町)
- ・筏津神楽団(旧:大朝町)
- ・東山神楽団(旧:千代田町)
- ・西宗神楽団(旧:豊平町)
- ・八重西神楽団(旧:千代田町)
- ・大塚神楽団(旧:大朝町)
- ・琴庄神楽団(旧:豊平町)
- ・有田神楽団(旧:千代田町)
- ・今田神楽団(旧:千代田町)
- ・砂庭神楽団(旧:千代田町)
- ・苅屋形神楽団(旧:芸北町)

●島根県内

- ・都治神楽社中 江津市
- ・後野神楽社中 浜田市
- ・石見神楽 周布青少年保存会 浜田市
- ・石見神楽 細谷社中 浜田市
- ・谷住郷神楽社中 江津市
- ・石見神代神楽上府社中 浜田市
- ・石見神楽 亀山社中 浜田市
- ・石見神楽 松原神楽社中 浜田市(旧:三隅町)
- ・石見神楽 今福神楽社中 浜田市(旧:金城町)
- ・西村神楽社中 浜田市

(順不同)



2008年度 広島・島根交流神楽

つまじろのまい
月一舞

ショッピングセンターサンクス支援事業

2008.6.1